

肢体不自由教育部門 高等部 自立活動 学習指導案

日 時 令和5年10月27日(金) 第2校時 10:25～11:10

1 題材名 「 こんなときどうする? 」

2 題材設定の理由

(2) 題材の指導目標及び指導内容

生徒	題材の指導目標	指導内容・方法・手立て	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思や気持ちを手話や身振りを用いて相手に伝える。 ・指示や話を最後まで聞き、見通しを持つ。 ・相手や場面に応じたコミュニケーションをとる。 ・左右の脚に均等に体重を乗せて歩く。 	3 (1) 6 (1) 6 (2) 6 (3) 6 (4)	①感情を表す手話と絵カード、イラストを確認する。 ②相手の気持ちを考えたり、周囲の人に求めたりする。 ・いろいろな場面を見て相手の感情を考える。 ・周囲の人へのお願いの仕方 ③指示や話を最後まで聞くことの重要性を知る。 ・話を聞く姿勢 ・次にやることを聞く ・今お話ししてもいいか尋ねる ・もう一度聞きたいとき ・メモを取る ・社会人としてのマナーについて ④スクワットに取り組んでから歩行する。 ⑤自分のペースで歩き、どこまで歩くか、何分歩くか決めて歩行する。

(4) 学校課題研究との関わり

本校の研究主題「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実」、副題「個別最適な学びにおけるICTの具体的活用」との関わりから、例題を動画で視聴し場面をイメージしやすいように活用したり、毎日取り組んでいるからだの時間の様子を、写真や動画で撮り定期的に記録したりする。やってきたことの積み重ねを感じるとともに、振り返りの時間でそれらを見ながら行うことで、いつも通りできている、できるようになった、上手いかなかった、前にこういう活動をしたな、など本生徒と教員がその場で一緒に振り返り、本生徒の変容に気付くことができるようにしたい。

3 題材の指導計画

時間/目標	主な学習活動		
	基礎運動	身辺整理	コミュニケーション
通年 / 目標	<ul style="list-style-type: none"> 歩行に取り組み、体力をつける。 バランスよく左右の脚に体重がのるように歩行する。 (PCウォーカー、クラッチを使用しての歩行) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることを増やす。 時間を意識して行動する。 (荷物整理、一人でトイレへ行く、授業準備、自己吸引) 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの人とかかわり、気持ちを伝えようとする。 (手話、身振り、iPad等を使用してのコミュニケーション)

4 本時の学習

(1) 本時の指導計画

生徒名	本時の指導目標・評価の観点	指導内容・方法・手立て
A	<ul style="list-style-type: none"> 場面や状況に応じて、自分の意思や考えを相手に伝えることができる。 	6 (1) 6 (5) <ul style="list-style-type: none"> 視覚的に場面や状況がわかるように写真や動画を使用する。 場面や状況に応じた適切な言葉の例を示す。 相手に伝えようとしたり、相手に伝えることができたりしたときは、受け手が感じたことも一緒に伝え、称賛する。

(2) 展開

時間	主な学習活動	○個別の支援(手立て) ◇評価の観点	備考
導入 5分	1 挨拶 2 本時の学習内容と目標の確認	○日直の号令に合わせて声を掛けながらあいさつをする。 ○スクリーンとPCに、授業の流れや目標を示して説明する。	・マットに降りて行う。
展開 40分	3 個別の課題 ①場面や状況に応じたコミュニケーション	○場面や状況がイメージしやすいように映像や写真を見せながら行う。 ○前回やったことをやり、振り返りながら進めていく。 ○場面や状況に応じて適切な言葉がわかるように言葉の意味や、他の場面や状況等も伝える。 【1】今の気持ちのレベル ○今の気分や疲労度を3段階で表現し、友達と共有する。 ○前回との比較があれば言葉掛けを行う。 【2】こんなときどうする?	・校務用PC

	<p>②スクワット</p> <p>③歩行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人が困ったとき ・自分が困ったとき ○動画やイラストを見て、イメージしやすいようにする。 ○役割を決めて、友達にどんな言葉をかけるか考える。 ○言葉が出てこないときは、教員がヒントを伝える。 ○考える時間を十分に設ける。 ○伝え方も一緒に考え、伝え方によって受け取り方もかわることを伝える。 ◇場面や状況に応じて、適切な言葉を選び、相手に伝えることができる。 ○教員が骨盤を支えて、骨盤を倒すことを意識できるように言葉掛けも行う。 ○残り時間を一緒に確認する。 ○何分歩くか、どこまで歩きたいかを本人と一緒に考えてから取り組む。 	<p>・クラッチ</p>
ま と め 5 分	<p>4 振り返り</p> <p>5 挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の良かったところを称賛し次回へのモチベーションにつなげられるようにする。 ○日直の号令に合わせて声を掛けながらあいさつをする。 	

・今の気持ちのレベル

